

『ハーモニー』祝創刊50年

全日本合唱連盟会報「ハーモニー」が創刊から50年を迎えました。おめでとうございます。



←第50巻193号

↓創刊号

創刊号は1971年10月1日発行、本文は縦組み、B5版32頁でした。「ハーモニー」に先駆けて1970年5月30日発行の「全日本合唱連盟会報」第1号では「設立総会開かる」と題し、同年4月5日に33の正会員によって連盟が設立されたことを報じています。

「ハーモニー」は年4回発行、今回の夏号で第50巻193号に達し、益々充実し合唱愛好家の情報源として活用されています。

歴史と事業活動

1972年11月、全日本合唱連盟の前身である国民音楽協会(初代理事長・小松耕輔)が設立され、第1回合唱競演大音楽祭が開催されました。その後、1948年に関東・東海・関西・西部の4合唱連盟を統括して全日本合唱連盟が発足しました。同年11月には第1回全日本合唱コンクールを朝日新聞社と共催で開催し、その後次々に地方支部が発足、裾野が広がっていきました。しかし、現在の加盟団体数は4,470と年々減少傾向にあります。

一大事業である合唱コンクールは、今年で73回を迎えますが、コロナ禍で中止となってしまいました。他にも、全日本おかあさんコーラス大会(当初はママさんコーラス大会と称していた)、こどもコーラス・フェスティバル、おかあさんカンタート、コーラスワークショップ、全日本男声合唱フェスティバル、

JCA ユースクワイア、合唱資料センターなどの事業を展開しています。また全日本合唱連盟が創設メンバーとなり国際合唱連合を設立し、外国との交流にも力を入れています。

今号のトピックス欄で、この『おんがく広場』が情報交換の場として紹介されました。「ほぼ日刊ペースで」と書かれています。現在は「ほぼ不定期」発行となっています(；)

コロナ禍を乗り越える情報交換の場「おんがく広場」

合唱活動が思うようにできない中、知恵を出し合って今やれることを模索しようという動きが各地で出てきています。そういう人々の情報交換の場を作ろうと、元埼玉県連役員の加藤良一さんがウェブサイト上で始めた新聞「おんがく広場」。広く投稿を募り、各地の現状を伝える一方で、自宅でできる練習のヒント、リモート合唱など新たな試み、合唱だけでなく吹奏楽など他の分野の音楽家の声も幅広く紹介しています。

第1号が4月10日に発行されて以来、ほぼ日刊ペースで更新され、6月5日現在で第56号に到達。ツイッター、フェイスブックといったSNSでの公開に加え、誰でも気軽に読んで印刷や転送ができるようにとPDF版、JPEG版も準備されています。すべてのバックナンバーがリンクフリーで利用OKです。

▶<http://www.max.hi-ho.ne.jp/rkato/>

鷺宮ウインドアンサンブル

来年の演奏会目指して活動再開！

埼玉県久喜市の市民吹奏楽団鷺宮ウインドアンサンブルは、公民館が再開された6月6日から活動を始めましたが、ほとんどは個人練習で、合奏できたのは6月と7月に1回、そして8月2日だけです。毎週日曜の午前は、合奏と個人練習またはパート練習です。



小編成ながらも吹奏楽曲を中心に、クラシックのアレンジやポップス、映画音楽も演奏しています。指揮者はクッキー会メンバーの江川善裕さん。距離を取り、演奏前後はマスクを着用。フルートは専用のマスクをしています。